

～ガバナーメッセージ

「企業の発展は地域貢献から」

国際ロータリー第 2590 地区
ガバナー 湯川 孝 則



秋の気配を感じる季節となりました。会長、幹事の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。新年度が始まり、はや3カ月が経ちました。各クラブにおかれましては、本年度の事業計画を着々と進めておられると思います。

公式訪問では、「友達になろう」を合唱していただくなど、各クラブで温かく迎えていただき、皆様の好意と友情に感謝しております。

さて、10月は、「経済と地域社会の発展月間」です。ロータリーでは、貧困地域の経済発展を目的として、起業家や地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの構築を推奨しています。

そこで、企業の発展と地域貢献について考えてみたいと思います。ロータリーは、職業を通して地域社会に貢献することを基本理念として様々な活動を行っています。社会奉仕や青少年奉仕、国際奉仕など、その活動は多岐にわたっていますが、地域の課題を把握し、その解決のために活動することが奉仕の原点になっています。今年度のR Iテーマである「ロータリー：変化をもたらす」は、こうしたロータリーの活動が、地域に良い変化をもたらしていることを実感しよう、あるいは、地域に良い変化をもたらそう、というメッセージでもあるように思います。

企業人であれば、誰しも事業規模の拡大と組織の発展を願いますが、地域の皆様のおかげで事業が成り立っているという考え方が大切です。最初にお金ありきではなく、より良い商品やサービスを提供することにより、お金が入ってくるという考え方です。これは、ロータリーの第2標語となっている「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の考え方とも合致しています。

利益優先の企業は、短期的にみると、利益を確保できるかもしれませんが、中長期的にみると、利益を損なうこととなります。それは何故かといいますと、利益優先の企業は、お客様に対して質の高いサービスや商品を提供し続けることが難しくなるからです。利益を優先するために質の低下を招き、質の低下がお客様の信頼を低下させます。お客様の信頼を損なうと、売上げが悪化し利益が減少するという悪循環に陥ってしまうのです。

企業が発展するためには、お客様が求める最高の商品やサービスを提供し続けることが必要です。そのためには、企業の基礎力を鍛えなければなりません。基礎力を鍛えるためには、良き人材を確保し育成していかなければなりません。その礎を築く活動が、地域社会への貢献ではないでしょうか。